

令和元年度 第1回倉敷科学センター協議会 議事録

【日 時】 令和元年8月5日（月） 18：30～21：45

【会 場】 科学センター研修室及びプラネタリウム

【出席委員】 井出委員，富岡委員，箕口委員，古賀委員，小林委員，高木委員，河野委員，赤崎委員

【事務局】 三宅部長，浅沼次長，三谷参事，藤田館長，三島主幹，石井主任，樋口囑託員

【傍聴者】 2名

1 開会

(1) 挨拶

【事務局】 ただいまから，令和元年度第1回倉敷科学センター協議会を開催いたします。

私は，倉敷科学センター館長の藤田と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

まず会議の成立についてですが，倉敷科学センター条例施行規則第10条第6項の規定により，委員の半数以上の出席をもって成立いたします。今日現在，委員は10名で構成されておりまして，半数は5名以上の出席となります。ただいま7名出席されていますので，会議は成立しております。

なお会議は原則公開ということで，本日の傍聴者が2名いらっしゃいます。

それでは，お手元にお配りしております協議会要項に従いまして進めて参りますが，会議に先立ちまして，教育委員会を代表いたしまして，生涯学習部長の三宅が御挨拶申し上げます。

【部長】 第1回の倉敷科学センター協議会を開催させていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。科学センターはプラネタリウムをリニューアルしまして，おかげさまを持ちまして，大変多くの方が来ていただいて本当にありがたいこととございます。中でも皆さんに決めていただいている全天周映画や，夏休みの企画展，これも子どもさんに大人気で本当に良い事業ができています。いろいろ皆さん率直な意見を出し合っただきまして，下半期以降の科学センターの事業が，より良いものになればと思いますので，今日1日長いですが，よろしくお願ひします。簡単ですが挨拶とさせていただきます。

(2) 委員紹介（事務局が名簿順に氏名を読み上げる）

（小林委員が到着）

(3) 事務局紹介（自己紹介）

2 会長，副会長の選任

【事務局】 それでは，協議の方に入っていきます。7月1日に，任期満了に伴う全委員の改選があつてから，初めての協議会となりますので，まず役員の選出をお願いいたします。会長，副会長を委員の皆様から選んでいただきたいと思いますのですが，どなたか御推薦がございましたらお願いします。

【特に意見なし】

【事務局】 特に御意見がないようでしたら，事務局側から提案させていただいてもよろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【事務局】 前期までの会長，副会長がそのまま留任されておりますので，引き続き会長は富岡委員，副会長は箕口委員にお願いしたいと思いますのですが，いかがでしょうか。

【全員異議なし】

【事務局】 ありがとうございます。それでは富岡会長，箕口副会長よろしくをお願いいたします。

3 諮問

(1) 令和元年11月期及び令和2年3月期全天周映画上映作品の選定について

【事務局】 続いて本日協議いただく事業計画について諮問させていただきます。この後御覧いただく全天周映画の選定について，諮問させていただきますので，よろしくをお願いいたします。

ここから議事進行を会長さんの方をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

(ここから富岡会長が議事を進行)

4 報告・協議事項

【会長】 はい。それでは続けて議事の方を始めさせていただきたいと思います。諮問の件は今、御説明いただきましたので、後ほど報告・協議事項4-(2)のところでやりたいと思います。

(1) 議事録署名人の選任

【会長】 4番の報告・協議事項というところで議事を進めます。まず、(1)議事録署名人の選任ですが、2名の方を決めたいと思いますがいかがでしょうか。

【特に意見なし】

【会長】 自薦がないようでしたら、私の方で指名させていただいてよろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会長】 それでは、小林委員さんと赤崎委員さんをお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会長】 それでは、お二方、小林委員さんと赤崎委員さん、よろしく願いいたします。

次に協議事項の(2)のところでは、

令和元年11月期及び令和2年3月期全天周映画上映作品の選定について協議するため、会場の移動をお願いいたします。本日上映していただくのは、『HORIZON 宇宙の果てにあるもの』と『アニマルハンター～どうぶつたちのオモシロ行動学～』と『えんとつ町のプペル』の3本で、10分後に上映を予定しておりますので移動の方をお願いしたいと思います。

【事務局】 事務局の方で御案内いたします。

(プラネタリウムに移動)

ープラネタリウムで全天周映画候補作品試写を鑑賞ー

(上映終了後、研修室に移動)

(2) 【協議】 令和元年11月期及び令和2年3月期全天周映画上映作品の選定について

【会長】 それでは皆さんお集まりですので、全天周映画の内容について事務局から御説明をお願いいたします。

【事務局】 まずは長時間に渡りまして、3本の全天周映画の上映を御覧いただき、ありがとうございました。協議会要項の資料5「全天周映画の作品選定のガイドライン」を御覧ください。

全天周映画については、前回から、選定方法も上映形態も変わりました。年間3本、7月と11月と3月に新作を投入します。これまでは配給業者に年間3本かそれ以上、作品を御用意いただき、協議会で1社を選定していただき、1年間の契約をまとめてしていましたが、前回より、作品ごとに選定をしていただき、それぞれ1年間のライセンス契約を結ぶこととなりました。

ページの下の方、3-4には、年3本上映する作品内容について望まれる、3つの資質について示しております。つまりは「科学解説の品質の高い作品」、「集客力が期待できる作品」、「低学年児童、幼児のニーズに応えられる作品」の3つの資質です。実際には重複したり、どれにも当てはまらないような例も出てくるかと思いますが、例えば、いくら人気が高いからといって恐竜物の作品ばかり続く、というような偏った選定にしないためのガイドラインとなります。

次に、要項の4-1ページ、「令和元年度 全天周映画上映作品の選定について」を御覧ください。今回選定をお願いしますのは、作品①とさせていただきます今年の11月から上映する作品と、作品②とさせていただきます来年3月から上映する作品です。候補となる3つの作品は要項の4-2ページの下側の表、科学センターの職員を対象とした試写の評価のランキングから選ばせていただきました。右寄りの星印の列は、職員の評価から分析して、作品がより子ども向け・ファミリー向けか、それとも大人向けの科学性の高い作品かを示しています。星印が左ほど子ども向け、右ほど大人向けということです。ランキングの上位、太字で書かれているものが今回の候補作品です。要項の4-3ページの表は、近年の上映作品の一覧です。

いずれの作品がより科学センターで上映するのに相応しいか、作品①と作品②についてそれぞれ選定いただくということで、御協議をお願いいたします。

【会長】 それでは、議論をしていきたいのですが、委員の皆様には御協議いただきたいものはまず、上映作品に沿ってということで考えております。順番的には『HORIZON』という、天文ものですね。これが最初でした。続いて『アニマルハンター』という名前がついていますが、英語の方が『INCREDIBLE PREDATORS』という作品で、肉食動物をとりあげて、弱肉強食といたつ、それでいて一方で捕食される側も工夫をしていて、必ずしも肉食獣が勝っているわけではないといったような科学性のある内容になっています。後は、『えんとつ町のプペル』というこれは比較的低学年児童、幼児のニーズに応えられる内容かと思えます。補足しますとこのプペルの作品は大変ベストセラーになったもので、お笑いの西野亮廣さんが作られた原作のものです。

以上3作品について、最初に自由に御意見を述べていただけたらと思うのですが、いかがでしょうか。どの作品についても、まずは全部通しで御意見いただいてもいいですし、一つの作品についてでもかまいません。

【委員】 来客者の平均年齢といえますか、統計をとったりはしてないのでしょうか。

【会長】 事務局いかがでしょうか。

【事務局】 詳しい統計をとるところまでしていませんが、夏休みの時期、1年の内の半分くらいのお客様が来られます。この時期はお子さんと親御さんだったり、あるいはおじいちゃん、おばあちゃんが孫を連れてきたり、という形が多いです。それ以外の時期になると比較的大人の比率が高くなるということで、今回選定していただくのが11月から上映開始と3月から上映開始というので、子ども向けというのは次、また来年の夏休み7月からの上映作品として決め

ていただくようになると思うので、そこはまたちょっと違う作品を選んでいただけたら、ということになると思います。

【委員】3月期といたしますと春休みですけど、そこはどう考えていますか。

【事務局】夏休みと比べますと、違ってきますね。やはり子どもが比較的多いのは、夏休みの時期です。

【委員】試写前に「上映中気分が悪くなったら、画面から目をそらして目を休める」ように注意がありましたが、来客者の中で、上映中気持ちが悪くなった方はいましたか。私も三半規管が強くない方で、最初の内1本ぐらい、ちょっと気持ち悪いな、と思いながら見ていたんですけど、どうなんでしょうか。

【事務局】夏休みは、ほぼ満員になることが多いのですが、そうすると誰か必ず、気分が悪くなって、ちょっと外に出るような感じにはなりますね。みんながみんな見ることができるというよりは、誰かちょっと気分悪くなるというのは、どうしても起こります。

【事務局】試写前に注意を差し上げたのは、前の委員さんで、試写中にちょっと体調が優れなくなって、最後まで御覧になれなかった方がいらっしゃったので、「今回気分が悪くなった方がいらっしゃいましたら」と加えさせていただきました。

【会長】その、気分が悪くなった、というところをちょっと掘り下げたいんですけど、前の上映作品ですか、それとも今回の上映作品ですか。

【事務局】前回の協議会の試写です。

【会長】そうすると『ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎』とかですかね。あれはすごく画面が動きましたよね、確か。追っかけて、うわあっと動くのがあったんで、今回だとやはり『HORIZON』は結構動きがあったし、あと『アニマルハンター』も動きがどちらかといえば多かったですよ。

【委員】自分が動くのに対しては全然酔わないんですが、じいっとしてて周りが動く。最初ちょっと辛かったです。

【会長】他にいかがでしょうか。

【委員】『えんとつ町のプペル』は、心を育てる作品かなと思います。あとは、環境問題ですね。

『アニマルハンター』は意外なことが、初めて知ったというようなこともたくさんあって、ああいう視点から見られて、最後のエンディングのところ（※エンドロールでメイキング映像が流れ、迫力ある映像を撮るためのカメラの特殊な配置やスタッフの奮闘ぶりが映し出される。）でこうやって撮ったんだなというものもすごく感じたので、動物ものって結構今までもずっとあったけれども、ちょっと新鮮なものだと思いました。

最初の『HORIZON』は、星空が好きな子は、とっても面白いと思います。小学校高学年、中学生、高校生、大人が見たら、見応えがあってとても分かりやすい作品だ、と思いながら見せていただきました。

『えんとつ町のプペル』はあまり動きがない作品で、あとの2つは比較的動きの多い作品。甲乙つけがたいなと思いながら見たんですが、作品①の方がたくさん見る機会が多いので、見せたい作品なのかなと思いながら見ていました。

【委員】私は最初の『HORIZON』は、子どもにはちょっと難しいかなという感じがします。最近天体の作品を上映していないということであれば、それも良いかなと思ったんですけど、たくさん入ってもらおうと思ったら、動物の方が良いかなという感じです。

【会長】ちなみに『HORIZON』は、前回は検討作品に入っていて、結構な支持があったのだけれども、前回漏れたというものです。前回以来委員をやっている者としては、またもう1回見ても新鮮というか奥が深いので、改めてこういうことを言っていたのか、というところもあって、それだけ難しいといえども子どもたちにとってはちょっと難しいかもしれない。ちょうど高校生、大学生で星に興味があったりすると、これは見せてあげたいというのは確かにありますよね。

【委員】そういった意味で、客層はどうですか、っていうのを聞いたんですけども。

【会長】例えば高校生、大学生というのはお客さんとしてどれぐらい来館しますか。

【事務局】昔の傾向としては親子の層が大多数だったのですが、最近は大人の方が増えてきている傾向があります。我々の運営上の戦略としては、子ども向けの番組をやるとみんな同じカラーの作品になってしまう傾向があります。そうすると大人の方の利用が遠ざかってしまうので、大人向けの作品、そしてお子さん向けの作品を、1年間バランスをとって上映するというのを戦略上大事にしたいと考えています。

【会長】他にはいかがでしょうか。

【委員】1番目の『HORIZON』と2番目の『アニマルハンター』は、どちらも子どもはたぶん見られないということで、一緒だと思います。動物ものだったら見るかという点、意外とそうではなく、この作品だと最後まで見るのができず、出ちゃうのではないかなと思います。小学生や幼稚園の子だったら恐らく耐えられない。

となると、子ども向けとして選ぶんだとしたら『えんとつ町のプペル』になるし、そして大人も増えてきているし、倉敷科学センターが天文を中心にした科学館ということを考えてときには、どれをとるかとなると『HORIZON』をとって『アニマルハンター』を落とすのが本来の姿ではないかと思っています。

もう一つは作品の②は夏休みの時期に一番下の時間帯で入る、そういうことですよね。

【事務局】3月から7月と書いていますが、3月の上旬から7月の上旬になると思いますので、作品②と書いている方が夏休みに残りますね。

【委員】一番下に残ってくるので、その夏休み中に残すのがどちらがいいのか。私の意見でいったら『HORIZON』と『えんとつ町のプペル』にするとしたとしても、どっちがいいかは考えないといけないですし、まずは1本落とすものを議論するべきかと思っています。

【会長】いかがでしょうか。今の委員の御意見に沿って、議論してもよろしいでしょうか。そうしたらまず、2作品に絞るということで進めていきたいと思いますが、今、委員から出たお話としては『えんとつ町のプペル』と『HORIZON』を残して『アニマルハンター』を落とすという案が出ましたけれども、御異議のほうはいかがでしょう。

【委員】『アニマルハンター』は、最初の強烈な映像があったんで、最初から子どもがぱっと食いつくかといったら、難しいかなと思いますね。

【会長】本当に嘔んだり、食べちゃったりというような、カメレオンとかも恐かったですよね。拡大の映像ですから、虫が好きな子にはいいけど、ちょっとどきつかったですね。そうしたら先の委員の御提案を受けて、『えんとつ町のプペル』と『HORIZON』を残すということで行きたいと思っています。

【全員異議なし】

【会長】あと、上映順C、Dの選定になりますけれども、これについては、御意見いかがでしょうか。

【委員】難しいのが、例えば時期的なことを考えると『えんとつ町のプペル』が11月に入った方がいいんですね。ちょうどハロウィンの時期になるのでその方がいいと思うんだけど、そうすると『かいけつゾロリ』とかぶってしまいますよね。子ども向けがかぶってしまうところがあります。しかし、『HORIZON』を11月にもっていったときには、夏休みに『えんとつ町のプペル』が一番下では残れますよね。先に『HORIZON』をとれば『えんとつ町のプペル』が②のところになるので、次の夏休みには『えんとつ町のプペル』が一番下に来る、夏休みの子どもの集客を考えたらそれの方が無難なのかもしれません。シーズンをとるのか集客性をとるのかで分かれてくる。

【会長】あるいは以前もあったかと思うんですけども、我々の方で2作品だけいったん選択しておいて、後は事務局の方にお任せをして、上映の状況を見定めて、この2作品の方で組み合わせを考えていただくというのものもあるのかな、と。つまりC、Dをいったん提案して、このいずれかをこの2つの作品の中で選んでいただく、ということで事務局に後は預ける、という方法もあるかと思うのですが、いかがでしょうか。

【全員異議なし】

【会長】よろしいですか。そうしましたら事務局預かりで2作品については、選定は『えんとつ町のプペル』と『HORIZON』ということで、この2作品の選定で、上映順については今上映している『かいけつゾロリ』との関連性もありますので、事務局の方の御判断にお任せするという形でお願いしたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会長】以上をもって選定についての協議は、今回はこの形で終了としたいと思います。

(3) 【報告1】平成30年度事業報告について

【会長】次に【報告1】の平成30年度倉敷科学センターの事業報告についてお願いいたします。

【事務局】昨年度の事業の実施報告をさせていただきます。

お手元の資料につきましては、事前に目を通していただくようお願いしておりましたものと同じでございますので、要点のみ説明させていただきます。

1ページめくって、資料1-2の項番2の月別入館者の右端の合計欄を御覧ください。平成29年度が179,156人、平成30年度が145,565人で、3万人以上減少しているのが分かります。これは、平成30年9月3日から平成31年3月26日までプラネタリウムの改修工事があった影響で、科学展示室は通常開館していたんですが、プラネタリウムが観覧いただけない影響により、科学展示室の入館者数自体も少なからず減少したためでございます。

内訳として項番4の地域別学校・園団体の利用状況を見ていただきますと、市内の小学校ですら7,580人から約半分の3,878人に減るなど、団体だけでも1万人以上減っていま

す。これも、2学期中に学校団体が大勢来られる時期にプラネタリウムが御覧いただけなかったことから、昨年度の団体利用が減ったものと考えられます。

次ページ資料1-3項番7の真備天体観測施設（たけのこ天文台）についてです。昨年7月の西日本豪雨で施設が入っている真備図書館が被災したため、現在休館中となっております。利用者状況は被災前までの数字となっております。たけのこ天文台は、目視確認上は無事ですが、図書館の分電盤が機能していないため、望遠鏡が稼働するかどうかは確認がとれていないのが実情です。図書館の復旧が令和3年2月ごろと見込まれていますので、その時期に合わせて電気設備が整い次第、稼働の可否を確認し、再開に向けて準備を進めたいと思います。

次に資料2-1で昨年度の事業実績を御覧いただきます。総事業費の決算見込み額は、ほぼ平年並み、前年度よりやや少ない84,961,610円で、内訳は御覧のとおり、それぞれプラネタリウムの運営に充てる宇宙劇場運営事業、科学展示室の運営に充てる展示室運営事業、科学講座等の運営に充てる講座・イベント・普及事業の3本立てです。

項番3の宇宙劇場運営事業については、御覧のと通りのプラネタリウム番組（学習投映、一般投映各5番組）を上映しました。また全天周映画については、改修前に上映していたフィルム映画の最後の上映機会となるため、過去の人気作品を一挙リバイバル上映するという事で、例年より多い9番組を御覧の時期に上映しました。

次ページ資料2-2項番4の展示室運営事業については、夏休み企画展が一番支出の大きい事業になります。毎年小学校の夏休み期間40日ほどの間、特別展示室で実施するものですが、展示室に入館した方ならどなたでも観覧いただけます。昨年度は2万7千人ほどで例年よりやや少なめですが、これも7月の豪雨災害で、生涯学習施設も臨時休館して災害対応に職員を従事させる対応をとった影響がありまして、ライフパーク倉敷も科学センター以外が7月半ばから休館となったことで、特に7月中の入館者数が伸びなかったようです。

項番5の講座・イベント・普及事業です。（1）の各種講座は対象を決めて参加者を募集する講座で、全40回、1,596人の参加がありました。（2）の特別企画は、ライフパーク全館を使うような大規模なイベントで、『こどもの日スペシャル』と『青少年のための科学の祭典』がそれぞれ2日ずつ行われ、参加者も6千人、7千人に上る大きな行事となっています。

次ページ資料2-3（3）の公開教室は科学センターの活動を知っていただく目的も兼ねた参加費無料・自由参加のイベントで、全77回、1万人を超える参加者がありました。この中で天体観望会は、特に夏休み初めに参加者が多いのですが、災害対応のため7月中の講座運営を中止したこともあり、例年より少ない参加者数となっています。

項番6の真備天体観測施設については、先ほど御説明したとおり被災前6月までの利用者数となっております。

項番7の広告事業は、タウン情報誌、るるぶ等の旅行雑誌などに定期的に広告を掲載しております。

項番8の委託事業については例年どおりです。

次ページ資料2-4を御覧ください。昨年度はプラネタリウムの全面改修を行っています。

事業費については4億8千万円ほど、先ほど試写を御覧いただきましたドーム内全て、投映設備・音響設備はもちろんのこと、スクリーンの張り替え、壁面などの内装、座席の改修、またエントランスホールに当たるホワイエのイメージも一新しました。特徴としては、星空を映す光学式投映機とデジタル映像を映し出すプロジェクターが完全同期するハイブリッド型の投

映装置を導入したこと。またプラネタリウムの番組導入部で、鷲羽山の山頂から瀬戸内海に沈む日の入りから全天を覆う星空までを、あたかもその場で本物の風景を目にするかのような臨場感あふれる星空体験に導く超高精細な解像度10Kの背景動画（デジタル・スカイライン）で再現したことなどです。さらに、今まで無かった車椅子の観覧スペースの創設と、車椅子専用リフトを導入しました。今までニーズを把握しきれてなかったのですが、導入後、月に10人以上、多い時で1回の投映で5台同時に御利用いただくこともあり、好評を得ています。

事業報告は以上です。

【会長】ありがとうございました。平成30年度事業報告について、何か御意見、御質問はありますでしょうか。

【委員】資料1-3の項番5ですが、平成23年度が講座の参加者が多くて合計も非常に多いです。また平成27年度は展示室の利用者が多いのですが、何か特別な理由がありますか。

【会長】事務局、いかがですか。

【事務局】平成23年度は、『宇宙探査機はやぶさの帰還カプセルの全国巡回展』を実施した年で、4日間で2万人以上を集めるイベントだったことから講座の参加者が特に多くなっています。またそれに合わせて、プラネタリウムも時間外に特別投映を行うなど、投映回数を増やしたことから、全体的に利用者の多い年となりました。

展示室の利用者の多い平成26年度、27年度については、項番8の夏休み企画展の内容を見ていただきたいんですが、恐竜に関する展示を行っています。恐竜は夏休みに子どもたちが集まる非常に強力なアイテムで、特に平成27年度は自然史博物館と共催で行ったんですが、倉敷市が引き受けた林原コレクションを中心に展示する中で、ティラノサウルスの等身大全身骨格標本を、ライフパーク倉敷の建物に入ってすぐ目に留まるエントランスホールのだ真ん中に据えたことにより、テレビや新聞等のメディアでも例年より多く取り上げられるなど、大変多くの方に興味を持っていただき、企画展観覧者数が、開館以来一番多い年となりました。

【会長】他にはいかがでしょうか。よろしゅうございますか。

【特に意見・質問なし】

【会長】特にないようでしたら、事業報告については認めるということで、よろしいでしょうか。

【全員異議なし】

(4) 【報告2】令和元年度事業計画について

【会長】それでは、次に【報告2】の令和元年度倉敷科学センターの事業計画について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】それでは、お手元の資料3-1及び3-2を御覧ください。

もうすでに事業が始まって4か月となっており、報告が遅れたこと、お詫び申し上げます。

まず、項番1の事業費については、先ほどの平成30年度決算額よりやや多い85,576千円の当初予算となっております。

次に項番2の利用者数見込みですが、プラネタリウムがリニューアルするというので、例

年より多めの18万5千人を目標としております。昨年度より4万人ほど増やさないといけないので、大変ですが、がんばって参ります。

項番3の宇宙劇場運営事業について、順番に御説明いたします。

まず幼稚園・保育園，学校団体向けの学習投映番組については，プラネタリウムが新しくなったことにより，プログラムを順次組み込む時間が必要となったため，小学生団体には9月から，幼稚園・保育園については『キラキラ森のなかまたち』という番組を6月から，『魔法使いリリー』という番組を9月からそれぞれ上映できるように準備を進めています。

続いて一般向けのプラネタリウムについては，今夜見える星空の生解説と天文に関するトピックスを解説する映像番組を組み合わせて提供していますが，3月のリニューアルオープン時から上映している『新しい宇宙』という，新しいプラネタリウムの機能紹介も兼ねた番組を，また夏休み前の7月12日からは『史上初！ブラックホール直接観測』という番組を上映しています。資料では未定の11月と3月も，新番組を順次制作して提供する予定でございます。

それから全天周映画については，この協議会の場で御協議いただいた番組を上映することにしておりますが，昨年度の協議会で3月のリニューアルオープンから上映している『ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎』と夏休み前から上映している『かいけつゾロリZZ（ダブルゼット）のひみつ』を選定していただきました。それから11月と3月については，先ほどの協議で選定された『HORIZON』と『えんとつ町のプペル』の2本を上映する予定です。

続いて展示室運営事業です。

夏休み企画展については，すでに7月20日から開催しております『鏡の魔法展』で，鏡を使った錯視・錯覚の世界を体験できる展示を行っております。1階の常設展示にも一部鏡を使った錯視・錯覚の展示がありますし，夏休み中に実施している科学工作教室でも『鏡の迷路』という関連テーマで子どもたちに講座を提供しました。現在も好評をいただいておりますが，夏休み期間中の観覧者数3万人を目標に設定しております。

また，特別展示室では，年末から年度初めの学校団体の少ない時期に合わせて，こども科学絵画作品展や星景写真展などを行っており，いずれも入場料無料で開放しております。

続いて次ページの資料3-2項番5の講座・イベント・普及事業ですが，講座等についても，例年並みの内容・回数で実施の予定です。

(2)の特別企画です。今年はゴールデンウィークが10連休という特別な年で，科学センターも期間中すべて開館したため，『こどもの日スペシャル』をやめて，『10連休子ども向けイベント』を実施し，ふだん日曜日しか行わないサイエンスショーを，日替わりで毎日2回ずつ（特に来館者の多かった4月29日，30日は4回ずつ，5月1日は5回）行いました。正規職員だけでなく嘱託の科学指導員もそれぞれいくつかの得意な技を持っていますので，バラエティに富んだ実験をお見せできました。

また，今月行う『ライフパークの集い』ですが，昨年度は災害対応のため実施できませんでした。ライフパークにある5センターすべてが出展する一大イベントで，8月18日(日)に開催しますので，お時間ありましたら，ぜひお立ち寄りください。

項番6の真備天体観測施設については，先ほどお話ししたとおり，今年度中はまだ休館中です。

項番7の広告事業，項番8の委託事業については，例年どおりのものを挙げております。

以上です。

【会長】今，説明を飛ばされましたけど，『青少年のための科学の祭典』も大きな事業ですよ。

全国規模の冠があって、こちらも科学センターで実施されているそうですが。

【事務局】はい。実行委員会形式で県内の小中学校・高校・大学の教員の皆さんとともに科学センターも運営に関わっており、毎年約40のブースで科学実験や科学工作を2日間、すべて無料で体験できるという、科学の文化祭のようなイベントとなっています。

【会長】ありがとうございました。補足をお尋ねしましたが、令和元年度倉敷科学センターの事業計画について、何か御意見、御質問はありますでしょうか。

【特に意見・質問なし】

【会長】ないようでしたら、ひとつ私から。今実施している特別展『鏡の魔法展』ですが、内容を伺って面白そうだな、と思ったんですが、どれくらいの規模で行っているのでしょうか。

【事務局】会場の特別展示室があまり大きい部屋ではないため、大きい展示物を持ち込めないのですが、今回一番大きいものと『動く橋』というものがあって、橋自体は動かないんですが、周りの鏡張りの壁や天井がモーターで動くため、足元の橋が揺れていると錯覚します。ゆっくり歩くと、私も酔いそうになりました。また、映像トリックになっている小さな部屋もありますし、展示数は数多くあります。

【会長】幼稚園児・保育園児からも楽しめる内容になっている、ということでしょうか。

【事務局】はい。子どもたちだけでなく、大人も楽しめる企画となっています。

【会長】鏡を使った企画展は前もあって、安全性のことが話題になりましたが、その辺は大丈夫でしょうか。

【事務局】(素材や展示物の配置などの配慮により)鏡が割れて、破片で怪我をするようなことにはならないようにしています。

【会長】ありがとうございました。他には、何か御意見、御質問はありますでしょうか。

【特に意見・質問なし】

【会長】それでは、特にないようでしたら、先ほどの事業計画については認めるということで、よろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会長】その他については、何かありますか。

【事務局】協議会の開催時期についてですが、昨年度から、年2回開催としております。これは、先ほどの協議でも触れましたが、全天周映画について年間3本の選定をすることになるんですが、試写を一度に行いますと、協議会の時間が膨れますし、精神的にも肉体的にも皆さんの負担が大きいということで、半年ごと2回に分けて決めていただくという趣旨です。そのため、次回は年明け2月ごろに第2回の協議会を行い、一年で一番集客を見込まれる来年度夏休み期間中に上映する映画の選定をお願いしたいと思います。また年末ごろに日程調整をお願いすることになりますので、よろしく願いいたします。

【会長】ありがとうございます。これで、すべての報告・協議事項について終了となります。

最後に諮問についての確認です。令和元年11月期及び令和2年3月期全天周映画上映作品の選定については、先ほどの協議結果を踏まえ、「協議会としては『HORIZON』と『えんとつ町のプペル』を選定し、上映時期については事務局に一任する」という内容で答申書を作成させていただきます。よろしいでしょうか。

【全員異議なし】

【会長】ありがとうございました。それでは、すべての報告・協議事項が終了しましたので、事務局に進行をお返しいたします。

5 閉会


【事務局】熱心な御審議をいただき、誠にありがとうございました。

このあと、答申に基づき、上映映画を選定、上映時期については科学センターで決めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。


以上で、令和元年度第1回倉敷科学センター協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

令和元年8月5日

会 長

富岡 直人 

議事録署名人

小林 幸恵 

議事録署名人

赤崎 哲也 